

ウポポイへの来場促進に向けた連絡会議（第1回）議事概要

日時：令和4年11月1日（火）11:00～12:00

場所：中央合同庁舎8号館8階 特別中会議室（WEB会議併用）

出席者：岡田内閣府特命担当大臣（アイヌ施策担当）（冒頭のみ）

内閣官房 吉井アイヌ総合政策室長、田村アイヌ総合政策室次長

国土交通省 橋本北海道局長、寺本北海道局総務課長

文化庁 杉浦文化庁次長、寺本企画調整課長

北海道 小玉北海道副知事、相田北海道環境生活部アイヌ政策監
（公財）アイヌ民族文化財団 常本理事長、對馬副理事長

議事概要

1. 岡田内閣府特命担当大臣より挨拶

- アイヌ文化の復興・創造等の拠点であるウポポイについては、年間来場者数100万人という政府目標を掲げ、達成に向けて取り組んできた。
- ウポポイでは、開業以来、令和4年10月末までの来場者数が累計で約70万人となるなど、コロナ禍にもかかわらず大変多くの方々に御来場いただいている。これは、アイヌの歴史・文化やウポポイに対する関心の高さを示すものと考えている。
- 9月に私もウポポイを訪問し、鈴木北海道知事と懇談した際、ウポポイへの来場促進についてご要望をいただいた。年間来場者数100万人という目標との関係では、更なる施策の充実・強化が必要であると考え、関係機関、特に国と北海道が一体となって様々な取組を行っていくために、本連絡会議を立ち上げた。
- 関係機関におかれては、本連絡会議の場を通じて密接に連携し、効果的な取組を検討して、実施可能なものから順次実施していただきたい。

2. 資料説明

- (1) ウポポイへの来場促進に向けた連絡会議の開催について（内閣官房）
- (2) 連絡会議において検討する事項（案）（内閣官房）
- (3) ウポポイへの誘客に向けた取組みについて（国土交通省）
- (4) ウポポイへの来場促進に向けた文化庁関係の取組例（文化庁）
- (5) 北海道におけるアイヌ施策について（令和4年度）（北海道）
- (6) ウポポイ入場者数の推移等（（公財）アイヌ民族文化財団）

3. 意見交換

出席者からの主な意見は以下のとおり。

- 来場促進の取組を進めるにあたっては、ターゲットを明確にし、効果的にアプローチしていくことが重要。
- 特に海外向けの情報発信の機会として、国際会議等の今後予定されている大規模イベントを活用し、アイヌ文化やウポポイについてPRすることも考えられる。
- ウポポイの近隣地域の観光資源と連携した誘客を目指すべき。
- 関係省庁、北海道庁及びアイヌ民族文化財団の連携を現地レベルでも高めて情報共有・施策の具体化を行っていきたい。

以 上